

【深泥池水生生物研究会第267回打ち合わせ会議事録】

開催日時: 2024年10月13日 14:00~17:00

参加者: 宮本水文、宮本秋津、高井利憲、斉藤孝、樋上正美、大村麗奈、田邊利幸、成田研一、竹門康弘(9名) 記録: 大村麗奈

前回の議事録の確認と補足

(1) ジュンサイ・オオバナイトヌキモ除去作業の結果報告について(竹門)

水生植物の消長に影響するカモ類の飛来数を記録したり、過去のデータについて紹介してもらうために日本野鳥の会にお願いしてはどうかとの意見があったが、いきものフェスの時には野鳥の会のメンバーに声かけ損ねたので、これについては次の機会を待つことになった。

(2) 夏休み底生動物調査2024の報告について(竹門)

採取した生物の同定・カウントまではできたが、まだ経年変化の分析までできていない。おおまかな傾向として、今回採取した総種数は49種類、そのうちトンボ類はここ数年間の採取数より少し増加していた。一方、努力量に対する捕獲量は減少。参加人数は44人。

(5) 水道谷のミズゴケ盗掘防止について(宮本水文)

今のところ、今年度の水苔盗掘の兆候はない。

(6) 外来魚除去活動について(高井)

スッポンがエリ網を破る事象が確認されていたが、網を側面まで修繕して以来スッポンが察知してか入らなくなった。

(9) もんどりボックスの苦情について(高井)

小屋前のもんどりボックスは一時的に置くと言っていたはずなのにまだ撤去できていないとの苦情があった。また、鎖に引っかかったときにもんどりボックスぶつくと危険とのクレームについては、ボックスを鎖から遠ざける方針になった。

苦情主に高井さんが回答書を手渡した後にいただいた返事について情報共有した。

小屋の建て替えを100周年のイベント合わせて行うのはどうかという意見が出た。なお、100周年イベントは2027年なので、行政が予算化するためには、できれば今年中に案を出すべき。他に「観察塔」「ビクターセンター」「遊歩道」を作るなどの提案があった。

今回の議事録(主に高井さんの議題メモによる進行)

1. 水質調査について出た意見と状況確認

(ア) 暗くなるので時間を早めたほうが良い。10時から16時までの作業はどうか

(イ) お昼はどうするか(各自持たせるか?こちらで準備するか?)

(ウ) パックテストやレンタルの水質計は発注済み。当日塩田と竹門が持参予定。

(エ) 時間がかかるのを防ぐには、現地測定の水質計を4班分揃えるべき。

(オ) オオバナイトヌキモが邪魔で進めないことも原因で遅くなったので、事前にオオバナイトヌキモの除去が必要ではないか。

(カ) 対象年齢は中高生で、募集は深泥池水生生物研究会HPと小屋前に掲載するのみ。小学生も親同伴なら可。

2. 11月の外来・過剰植物の除去作業

- (ア) 外来種スイレン除去のための水路開削について：1日でやるか他の作業と並行してやるかは未定
- (イ) オオバナイトタヌキモの除去日：11/16、17、23、24にやることとした
- (ウ) 最終日の翌日(25日)の植物体回収は塩田さん経由で長谷川さんへ依頼する

3. 9/28,29実施のいきものフェス振り返り意見と課題

- (ア) 参加者は全体で去年の倍になり、1万人を超えた。
- (イ) カムルチーの生体展示がとても好評だった。隣で出展していた京の川の恵みを活かす会のカメの生体展示も好評だった。来年はブルーギルについても生体移送の許可を取って生体に触れるような展示をしたい。
- (ウ) タヌキモの補虫嚢が実際に餌を吸い込む様子を見せたい。またその原理を紹介できれば良いと思う。来年はこれらを動画にして流すのはどうか？
- (エ) ポスターについて、やっていることが長々書いてあっても来訪者は読まないの、わかりやすくキャッチフレーズだけ書くのはどうか。
- (オ) 深泥池水生生物研究会の活動に参加する人が増えるように活動案内パンフレットを作ってはどうか？
- (カ) ワークショップは時間が短くなったため去年より来訪者数が減少したが、人員は足りなかった。
- (キ) 当日は曇りで暑くなく雨もないという非常に良い気候に恵まれた(もし雨だった場合、机上の標本やポスターなどが濡れてしまうのでどうすれば良いか)。
- (ク) 京の川の恵みを活かす会と隣同士だと水槽や観察用トレイが借りられて助かる。
- (ケ) 田中さんに車をお願いしたが、田中さんの負担が大きいののでレンタカーを借りるべき。
- (コ) いきものフェス出展に関わる経費はどこから調達できるのか要検討。

4. 毎年恒例の小屋の整理について

ゴミをどのように処分するかまだ決まっていない。選択肢としては個人で持って帰るか、深泥池を美しくする会のものと一緒に出すか、長谷川さんに直接お願いするか。日程も11/9か11/10のどちらにするかを塩田さんに相談することとした

5. その他配布された資料

- ü 深泥池, 帰化植物・外来植物メモ(宮本水文)

6. 木道作り(宮本水文)

2025年1月～2月に行いたいとの意見に対して、京都市の回答では「ヒノキ谷エリアは天然記念物範囲外であるので木道作り(および修理)は可能だが、水道谷エリアは天然記念物範囲内のため

遊歩道作りは申請が必要でかつ施設と認定される構造物の設置は厳しい」との説明があった(竹門)。

今後の予定

外来魚捕獲用網の仕舞い作業(洗浄、撤収)

- ・10月20日(日)北エリ網、10月27日(日)南エリ網、11月10日(日)モンドリ網
- ・11月10日(日)14:00～17:00:第268回打合会
- ・12月22日(日):忘年会兼打ち合わせ会